



年 組 名前

道新 ワークシート

家に眠っている衣類や本 持ち寄って

【豊頃】新品のまま家の中で眠っているもの、気に入っているが自分には合わないものなどを住民が持ち寄り、無償譲渡できる場が5日、町茂岩本町14に誕生する。名称は「ゼロ・ウェイストshop『えらぶLab』」。来場者は前の持ち主が添えた心のこもったメッセージを読み、気に入ったものを持ち帰れる。町民有志が運営に当たる。(椎名宏智)

無償譲渡でできる場 豊頃に

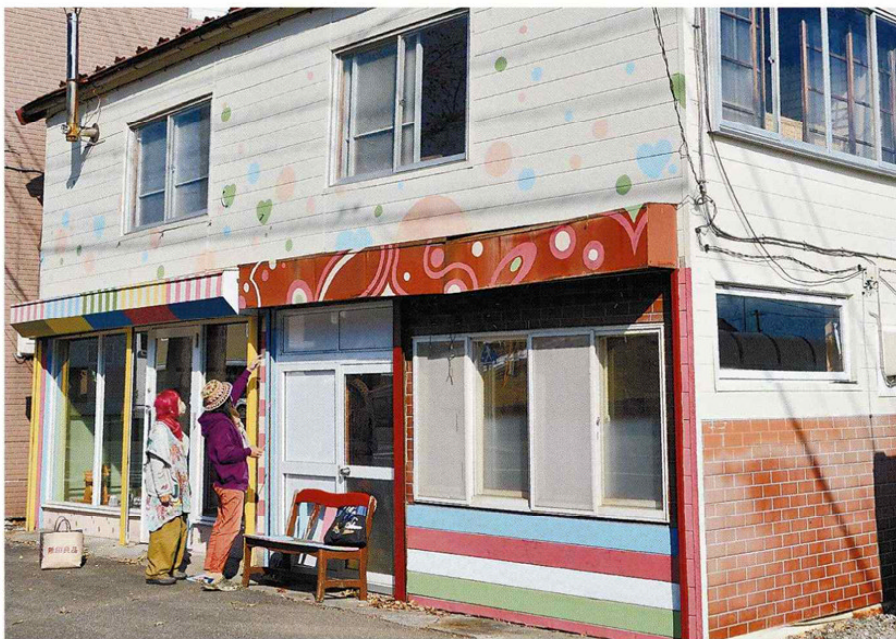
5日オープン 心も通う循環目指す

発案者は町内の美術家白浜真紀さん(55)と一般社団法人ココロコの営業企画マネージャー千葉栄美さん(56)。ごみを出さない「ゼロ・ウェイスト」の取り組みでもあり、共感する仲間を少しずつ増やして準備を進めてきた。

町が所有する木造2階建て築65年の「空き店舗」を活用して開設する。当面のルールは持ち込みを町民に限り、衣類、日用雑貨、本などを1人4点までとした。手放す人が思い出や温かいメッセージを添え、ものだけでなく心も通うステキな循環を目指す。

一方、持ち帰る人には制限がない。値札がなく、全て無料のため、前の持ち主からのメッセージを読み、自分の好みに合わせて金銭感覚抜きに「えらぶ」ことを楽しめる。「えらぶLab」の名には、住民の選ぶ自由を大切にしたいとの願いが込められている。事務局を担う白浜さんは「善意あふれる空間にしたい。『えらぶLab』のルールは少しずつ変わると思うが、持ち込んだ人も次の持ち主も、地球も幸せになるゼロ・ウェイストの取り組みを、草の根的に広めたい」と話している。

「えらぶLab」は、店舗スペースが23平方メートル。利用日は土曜、日曜の午後1〜5時となる見通しで、平日は不定期に開ける。隣の間には一服できるスペースやミニ工房、ミニギャラリーなども整備する。運営に当たる有志は、オープン時は6人の見通し。運営による収入がないため、有志が店番をしながらできる手仕事を募集する。



豊頃町に5日オープンする「ゼロ・ウェイストshop『えらぶLab』」



ゼロ・ウェイスト「ごみを出さなくすこと」を目標に、できるだけ廃棄物を減らすこと。ウェイストは浪費や無駄を意味する英語で、ゼロ・ウェイストは、その無駄や浪費をなくすことで、ご

みを出さないようにする。ゼロ・ウェイストの概念は1990年代、欧米などで環境保護運動を通じて醸成されたといわれる。国内では徳島県上勝町がゼロ・ウェイスト宣言をし、注目されている。



道新でワークシート

年 組 名前

①文中では、ごみを出さない取り組みを、何という言葉で述べていますか。8文字で書き出しましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--

②物を持ち込む人、物を持ち帰る人、あなたが考えるそれぞれのメリットを書きましょう。

持ち込む人	
持ち帰る人	

③豊頃町の取り組みを広げるため、あなたなら「えらぶLAB」をどんな言葉で宣伝しますか。例や文章を参考に書きましょう。

例) 持ち込んだ人も、次の持ち主も、地球も幸せに